

## 令和2年度1年間を振り返って

1年5組 小林

今年は新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止、または規模を縮小しての開催となってしまいました。僕にとってこの1年間は、短いようでとても長い1年でした。1年の中で新人戦、体育祭の2つの行事は印象深く、鮮明に覚えています。

僕は、小学校のころからクラブチームで習っていたラグビー部に入りました。ラグビー部は僕と同学年の部員が入部する前は、3年生は1人もおらず、2年生は5人しかいない状況でした。単独チームで試合に出られないどころか、ラグビー部存続の危機が迫っていました。そこで僕は何人もの友達をラグビー部に誘いました。その結果、1年生が12人も入り、新生ラグビー部として、単独チームで試合に出場することができるようになりました。また、新人戦に向け、顧問の松島先生、清水先生のもと、一生懸命に練習に取り組んだ結果、だんだんとチームの絆が深まりました。ONETeamとなり臨んだ新人戦では、日々コツコツと努力してきた成果を発揮し、県ベスト8という好成績を残すことができました。上柴中の代表として、そして仲間とONETeamになり勝利した時の喜びと感動は、今でも忘れられない思い出です。しかし、目標とする県大会で1位となったわけではないので、悔しさも残りました。このことを糧に、学総に向けて悔いの残らないよう、今まで以上に本気で練習に取り組みたいと思います。部活動を通して僕は、仲間とのコミュニケーションをとる大切さを強く感じました。部活で身につけたこの力は、授業内での話し合い活動や学級内での人間関係づくりにもつながっています。これからも学校生活に活かしていきたいです。だからこそ新型コロナウイルスが縮小し、通常通りの部活に早くもどってほしいと願っています。

体育祭では、学年ごとで、無観客の開催となりましたが、それぞれのクラスで団結し、優勝を目指して頑張りました。特に盛り上がった競技は、クラス対抗全員リレーです。走るのが苦手な人や得意な人がいますが、みんなで話し合い、作戦を立てました。練習をした後に、本番に向け話し合い、悪い所を改善し、完璧な状態で本番を迎えました。学年全員が一生懸命に走る姿は、とてもすがすがしく、気持ちのよいものでした。体育祭は、1年生の行事で1番白熱したと思うので、自分から手洗い、うがい、手指に消毒をするなどの感染対策をきちんと行い、来年は全学年で行えるといいなと思います。体育祭を通して、学級では、協力する力、団結力などが高まったと思います。学年では、様々な面で成長したと思いますが、特に全体の絆が深まったと感じました。

僕にとって、この1年は忘れられない特別な1年でした。2年生で、改善したい反省点は、すぐに人に頼らず、まずは自分で行動することです。この1年間の成果は学級、学年、部活動など様々な面で、団結力などの人間関係が深まった事です。来年は自分に足りないものをできるだけなくし、今年以上に素晴らしい人間関係を築き上げていきたいです。